

中国旅行

昨夜 テレビのスイッチを入れたら、東北放送で、“オールスター感謝祭〇三”という番組を放送していた。かあちゃんは仕事の打合で出掛け、私一人ポツチだ、何気なく見ていたが面白い、長い番組だ。夕刊を持って来て見ると、何と一八時三〇分 二三時三〇分までの放送だ。

三時間位過ぎた頃、中国雑技団の見事な空中技が披露された。今、日本に興行の為来ている一団なのか、別に来日したのかは分からないが、新聞には緊急来日と書いてある。

ハラハラドキドキして見ていたが、平成十一年三月夫婦して中国旅行三泊四日のツアーに参加し、上海での一夜を中国雑技団の演技を鑑賞しながら過ごした記憶が蘇った。

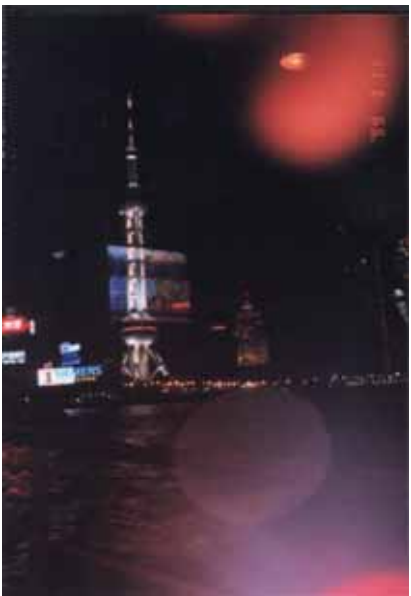
夫婦して海外旅行は始めてであった。足腰が丈夫なうち、ツアーに参加しようと思ひ申し込んだ。中国は近い、沖縄と同じ位の距離だ。近くても外国で、成田空港からのフライトである。

三月十日、朝一番に仙台発の新幹線で出発した。集合時刻は十一時五十分、時間厳守である。京成上野駅で乗り換え、空港には一時間以上前に到着、ターミナルで早い昼食、思ひ出の写真を撮り合った。

出発は午後一時五十分、日本航空でフライト、約三時間で上海空港着、早速観光が始まった。港より豪華船に乗り、揚子江河口を一巡、異国上海のネオン輝く夜景に見とれた。

下船後中国産品、売店や催し物ができるレストランに入り、ファッションシヨウを観ながら夕食、売店でかあちゃんはネックレスを買ったようだ。

私はもっぱら見事な掛軸や額縁入りの絵を鑑賞し



ただけで何も買わなかった。

ホテルは、虹橋賓館、なんと発音するの
か分からないが、三日間同じホテルだった。
ホテルに買ったお土産や身の回り品を置
いて、身軽で観光に出掛けられる。異国の
ホテルで二人だけの夜は始めてである。歳
を取ってもロマンチストになれるものだ。

二日目も天気は上々、上海市内観光に出
掛けた。中国は寺院が多く、スケールの大
きさには驚かせられる。観光バスの運転手
さんは、日本語は話せないが、ガイドの男
性は、日本語を日本人と変わりなく確実に
話す。息子さんは京都大学を卒業したそう
だ。

昼食にレストランに入ると、必ずお土産を
売る売店が併設されている。食後、上海大
学を訪れ、東京大学を卒業した女性教授の
悠調な日本語で、漢方医薬品の話を拝聴、
夕方ホテルに帰着した。近辺の自由散策
を楽しみ、夜は上海ナイトクルーズで夕食
しながら、諸々のシヨウを楽しんだ。

三日目は蘇州日帰り観光だ。有名で歌
にもある寒山寺に到着。内
部や広い庭園、虎丘斜塔を見物、出て拙政
園に入り見事な庭園に驚かせられ、上海
に戻った。

夜は上海雑伎団を鑑賞、中国最後の夜を
過ごすホテルに戻った。翌日の成田行きは、
中国東方航空だった。無事成田空港に着
き、上野駅から仙台までノンストップの
新幹線に乗り一時間四十分で到着、キオ
スクで食事、我が家に戻った。

夫婦二人だけ始めての海外旅行。中国
最大の都市上海の夜景。ロマンチックな
ホテル。多くの寺院の仏像、庭園の見事
さ。雑伎団の演技。日本語上手で親切な
ガイドさん。上海大学の女性の教授。フ
ァッションシヨウ。溢れる自転車の波。
お土産に買ってきて飾っているパンダの
縫いぐるみ。妻が買った品々の思いと、
二冊の写真帳が、二人の心を和ませ
てくれる。

